

令和元年度防災対策懇談会 開催議事録

開催日時：11月10日（日）午後2時～3時40分

場 所：友部公民館2階大会議室

出席者：48名

講 師：防災士 山田 満 氏

《防災対策説明後の意見交換》

1

【意見等】

●平町 鈴木 穰さん

雨の際はいつも地区を流れる涸沼川の様子を見ている。住んでいる地域は、1947年のカスリン台風の時に道路が冠水した経緯があり、今回は想定外ということが多く聞かれたため、逆流して冠水するのではないかと危惧していた。

河川改修は進んできているが、常磐線の下をぬけるところ、下流の方が狭くなっていて増水したときに冠水してしまうのではないかととても心配である。

河川の管理は国かもしれないが、市からもっと危険情報を早く出すようにしてほしい。例えば、水位計が危険水位に近付いている状況などを、文字だけでなくかさめ〜るに映像をつけて配信するとか、防災無線も聞きにくいので、高齢者の自宅に直接ファックスなどで危険情報をお知らせしてほしい。

この方法は千葉市で実施しているとのこと。

また、ハザードマップの浸水地域の色分けが見にくい。危険箇所は拡大して示してもらえないか。

【回答】

涸沼川は市内最大の河川であり、現在も河川整備がすすめられています。

現在2か所に水位計のカメラが設置されています。今後、カメラの増設を要望していきます。

防災無線はアナログからデジタル化を進めています。聞こえにくい地域には戸別受信器の設置も検討しているところです。なお、防災無線の内容を聞くことができるフリーダイヤルのシールはもっと大きなものを作成していく予定です。

ハザードマップの色分けについては、千年に一度の災害を想定したエリアとなっています。どこまで詳細に表示するのがいいのかなど今後検討していきたいと思えます。

また、マップの大きさについてはこれ以上大きいとかえって見づらくなってしまおうと考えています。

2

【意見等】

●愛宕団地 大西 百代さん

隣接地の土地に高く大きな木が生えている。最近、木の根元部分など土地が削られてきて、いつか倒れるのではないかと心配である。木が倒れた場合、近くの公民館や民家4軒ほどに影響がでそうな状況である。岩間支所の地域課に4年ほど前から相談しているが、地主に会うことができないといった理由で一向に対応が進まない。

どのように対応していけばいいか。

【回答】

地主に会えないということはないと思います。岩間支所の地域課に、これまでの状況について確認をして市として対応をしていきたいと思っています。

3

【意見等】

●松山団地 原田 功さん

松山団地は高台にあり、風の通りもよいところなので、地震や台風の際に被害を受けやすいことが心配される。また団地内に体調があまり良くない方もいるので、有事の際にどこまで対応ができるのかを心配している。まずは自助、共助が大切だと思う。それには情報が入ってくるのが大切で不可欠であると考えている。

今回は、かさめ〜るで多くの情報が入ってきてとても良かった。もし、停電になってしまった場合でも情報が発信できる状態をとってほしい。

自治会の集会所等にソーラーパネルなどを設置した場合に市から補助はできるのか。

【回答】

自助・公助・共助を市民の皆さんに理解していただいて、協力し合って対応をしていきたいと思っています。情報は的確にできるだけ早く市のホームページなどで発信してまいります。

また、ソーラーパネル設置に対する市の補助はありません。ただ必要な場合もあるだろうと検討は重ねております。

4

【意見等】

●66区 國見 茂久さん

ハザードマップの避難所表記について、拠点避難所と普通の避難所の違いが市民には分からない。汎例に説明書きがあるとよい。

拠点避難所となっている笠間市民体育館は、ハザードマップ内で赤い浸水区域となっているが、避難所として適切か。笠間中学校など高台にある場所がよいのではないか。

箱田・片庭地区の自主防災組織の結成率を高めたいが、なかなか進まない。市で協力していただきたい。

【回答】

6か所の拠点避難所は、震度5弱以上の地震で担当職員がすみやかに開設する避難所です。そのほかの24か所の避難所は、災害などの状況により開設の有無を判断している避難所となります。

拠点避難所は、東日本大震災後に決定したものでありまして、そのあと千年に一度の洪水時の浸水エリアが発表されたことから、市民体育館が赤い区域になってしまっている状況です。しかし拠点避難所はどこでも良いというわけではなく、一定要件を満たしている場所を選定していますので、今後見直すところは検討していきたいと思っています。

自主防災組織の結成に向けた推進に対して、市も地元と協力していきます。

4

【意見等】

●旭町西区 川崎 幸一さん

台風 19 号の際、民生委員をしている妻が区に加入していない方（2 人）を岩間中学校の体育館へ避難のため送って行った。岩間中の体育館は古く、トイレの建てつけも悪く、トイレまでに段差もあり、高齢者には危険であると感じた。洋式トイレの設置を要望したい。

また、地域交流センターいわま「あたご」に避難したかったが、福祉避難所なので最初から避難することはできないと言われた。福祉避難所には最初からは避難できないというのは課題であると思う。

【回答】

トイレについてですが、拠点避難所にもなっておりますし、早急に洋式化を進めていきたいと思えます。

また福祉避難所ですが、笠間市はその場所を公表していません。理由としては、福祉避難所に最初から一般の方が避難してしまうと、本来必要な方が避難できない可能性があるかと判断しているからです。

福祉避難所の場所を公表するか否かは各市町村の判断ですが、全体の公表の割合は半々となっています。しかし公表するかどうかは非常に難しい問題です。

実際には、拠点避難所等に避難した際に受け入れが難しい場合に福祉避難所に避難することとなります。

5

【意見等】

●18 区 竹田 洋一さん

今回の台風 19 号の際、近くの避難所となっている笠間小学校は避難所が開設されなかった。高齢者の方から避難したいが市民体育館までは自分で行けないので、避難するために車で送るなど手伝ってほしいと要望されたが、交通事故の懸念などもありお断りした。どうしていくべきか。

【回答】

送迎は非常に難しい問題であると認識しています。どのように対応していくべきか市としても検討を重ねていく課題であると思えます。

山田先生：東京の例では、民間のタクシー会社に協力依頼、協定締結している例などもあったと思えます。民間委託を考えていくことも一つの方法かと思えます。

6

【意見等】

●筒埜区 須藤 敏夫さん

避難の手段について、区長や民生委員に市民から要望があった場合、スクールバス

などでの対応が可能なのではないかと思うがどうか。

また、今回の台風でもダム放水について全国各地で行われていたが、今は降水量などが予想できているので、飯田ダムについても、涸沼川などが増水しないうちにダムの水を放水するなど対策をとっていくと思うが、その際に判断するのは県か市か？

【回答】

移動手段については今後の検討課題であり、障害者の方などは、民生委員の方に協力をいただきますが、高齢者にバスを配車するというのはひとつの手段であると思います。

しかし、災害が広範囲にわたってしまった場合は対応が難しくなるので、引き続き移動手段については検討を重ねていきたいと思えます。

飯田ダムについてですが、飯田ダムは自然に水がオーバーフローする仕組みのダムで、人が操作して放流を行うダムではありません。その際にはサイレンが鳴ります。サイレンが鳴る前に地元の区長を通して連絡がいくこととなっています。

7

【意見等】

●旭平2区 粕谷 靖さん

自分の区はハザードマップでは問題ない場所であるが、地域の方が不安になり、台風の際に市役所に電話をかけたが繋がらなかったそうである。市の専用の連絡窓口などがあるとよいと思った。

また、この地域は安全というような情報も流してもらえたら、市民の皆さんも安心するのではないかと思うが。

【回答】

平時の時は、市役所に時間外に電話をかけると業務終了の案内に切り替わっていますが、緊急時は切り替えをし、直接電話が繋がるよう設定していますので、市に電話していただければ繋がることで対応しています。

また、皆さんの住んでいる地域は安全ですよという情報提供をしていくことができれば、安心につながるかとは思いますが、情報を出す以上は何かしらの根拠がないと非常に難しいと感じています。

どのように発信できるのか検討をしていきたいと思えます。

8

【意見等】

●上安居区 持丸 さん

数年前に自主防災組織を結成した。新たに非常食を購入する場合に市からの助成はあるのか

【回答】

今のところ助成はございません。今後の課題であると思えますので、ご意見としてお受けして、何に助成できるのかなど検討していきます。

9

【意見等】

●旭台団地第2区 増渕 隆さん

避難所生活が長引くことになった際に、宿泊施設ではどのような対応をしてもらえるか、また避難所の基準や避難できる人数を具体的に示してほしい。計画性を持つと行動しやすい。

【回答】

避難所の基準は1人あたり2㎡と国で決められているが、避難所の在り方が変わってきています。長期的な避難となった場合、現実的にその基準では面積が狭すぎるので、避難所の受け入れ人数を一律に出すことは難しい状況です。

しかしながら、明示できるものがあつたほうがわかりやすいことも事実ですので、今後の検討課題としてまいります。

10

【意見等】

●八田地区 仲村 進さん

旧東小学校と旧東中学校の利活用として、東小が陶芸の学校とか東中はドッグランになると方向性が示されたが、今後避難所として利用はできるのか？

【回答】

旧東小学校、旧東中学校については、利活用の公募において、避難所としての機能を維持することを条件としております。

ただし、東小学校については、代替機能を含めて協議しておりますので、決まりしだいお知らせいたします。